

令和4年3月24日

保護者アンケートへの回答

【学習指導について】

○家庭学習の定着

- ・千時間学習について、学びは時間ではないと思うのですが小中学と詰め込まれ急がされ高校でもかと落胆しました。ぜひとも新しい学びへ発展してほしい。
- ・どれくらい勉強しているのか把握できていません。本人の自主性に任せてヤイヤ言わず、見守る程度でよいのか悩むところです。
- ・自主性尊重するわりには長期休業中の宿題の量が多いのではないか。(教科によりますが。)

○授業のあり方

- ・東高での授業は、各教科の先生方が工夫を凝らし、また興味深い話をしてくださり、授業が楽しいと聞いています。必要に応じて質問にも答えてくださるとのこととても助かっています。
- ・教科によっては、授業がわかりづらいと言っているのを聞いたことがあります。また、担当する先生によって習熟度が違ったり、配布物が違うとなると、わかりづらい授業を受けているクラスの子が不利なのではと思いました。
- ・アクティブラーニングをもっと取り入れて欲しい。詰め込み式ではなく、他者との関わりから深められる学びは定着も良いのではないかと思います。
- ・春に説明された評価基準と異なって困惑しました。進路にも影響するので対応をお願いします。
- ・全ての授業が楽しいと思えたら、すごいと思います。
- ・いろいろな先生がいらっしゃると思いますが、一部の生徒しか分からないような授業はどうかと思います。学年にその教科の先生が数人いる場合、学習の進度や理解度をある程度揃えてもらいたいです。

○補習等

- ・追試や補習を行って、出来ていない科目を習得する様に向かわせて欲しい。
- ・赤点など、理解不十分の単元がある時は、部活停止！などの厳しい処置があってもいい。
- ・授業についていけない生徒に対してのフォローがもう少しあればと思います。

○教材（問題集等）の活用

- ・学校に新聞の切り抜きが置いてあるそうで、とても良い取り組みだと思います。

○授業進度について

- ・個人個人によっては学習スピードについて行けない、いわゆる置いてきぼりがいます。そうした空白の穴埋めをどの様に解決するべきか？更なる密着型指導が出来れば良いのですが？！
- ・一年生保護者です。進度のはやい授業について行くことと、部活の両立に四苦八苦しつつも模索しながら頑張っている様子です。学習指導において、現状否定にとどまらず、部活との両立の観点からの助言、励まし、具体的なアイデアなどいただけたら嬉しいです。

○考查について

- ・授業者は研修の志を忘れてはならない。定期試験もぬるい。平均点は50前後で良いはずである。さほど難しくないテストの点数な満足して、さらに上を目指すことを怠る。今後の授業者に期待。
- ・テストの順位を公表しないのはとても良いと思います。

○リモート授業について

・コロナ自宅期間中に、高1の配信を見たが、ぬるい気がした。進度が遅い。生徒同士のペアワークは内容確認だった。これは必要あるのか？いつもさほど変わらぬ授業展開と内容。東校生も他校生と変わらず、授業での楽しさ、ドキドキ感ワクワク感を体験したい。

○類型選択について

・10月の保護者向け説明会で資料が配布されましたが、その際に、文理選択後の2年生の各授業の単位数一覧もあると、進路選択をする上での参考になり、助かります。

○学習時間および学習習慣の定着について

本校では、家庭学習も含め週1,000分（およそ平日2時間、休日4時間）の自学自習時間を確保するよう呼びかけています。その目的は、学習時間・場所を固定化することで学習習慣の定着を図ることにあります。1・2学年での学習習慣の定着は、受験期を迎える3年生での学習時間に大きな影響を与えるといった研究結果もあることから、学習習慣が身に付いているかどうかを把握するために、年4回学習状況調査を実施し、その結果をふだんの学習指導や面談、集会等で活用するようにしています。

今年度は、3年生の5月の調査で「平日：1日145分（2時間25分）」、「休日：1日235分（3時間55分）」といったほぼ目標としている結果が出ており、学年が上がるにつれて、学習時間が増加する傾向が見られました。この結果からも、学習には「基礎体力」が必要であり、受験勉強を本格化させる時期に「全力で走り切る」ために、1・2年のうちにしっかりと学習時間を確保することで、学習習慣を定着するよう努めることが重要であると言えます。

なお、「週1,000分」という数字は、本校における実際の学習状況や、過去の大学入学共通テスト（旧センター試験）の結果との相関関係から導き出しています。「週1,000分勉強すること」が目的ではなく、あくまでも学習習慣の定着を図るためのものですので、数字がひとり歩きしないように、定期的にその意義について伝えていきます。

○授業のあり方、補習等について

本校では、年間2回の授業アンケート（前期7月、後期12月）を行っています。このアンケートは、「授業のわかりやすさ」や「授業満足度」とともに、各授業が「主体性」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」といった資質・能力を高めるためのものになっているかを生徒が振り返り、回答するものです。今年度は新たに「評価の妥当性」についての項目も設けました。アンケートの結果は数値化して教員全体に示し、各教科の反省材料として授業改善に役立てています。

また、昨年度から学校全体として改善する必要がある授業スキルをテーマとして設定し、研究授業を各教科で行っています。今年度は「ICTを効果的に活用した授業実践」をテーマとし、10～12月に研究授業を実施し、それを授業改善に活かすように取り組みました。

今年度はコロナ禍により、グループワーク等の学習活動に様々な制限がかかりました。感染状況にもよりますが、今後ますます協働的な学びは必要になるため、各教科で適宜行うように呼びかけていきます。また今後は、時代や社会状況に応じ、生徒の資質・能力を育む方法の一つとして、Google Workspace for Educationに代表されるICTを活用した指導方法について研究を進める必要があると考えます。

教科担任による指導のばらつきについては、ふだんから意識的に是正していかなければならないことと考えます。各教科担任間で連絡を密にとり、授業進度についての確認や、課題の質・量、評価の在り方等について検討するようにしていきます。

補習については、定期考査や単元テスト等で目標に到達していない場合に各教科で行っています。今後も必要に応じて行いますが、すべての生徒が授業に付いてこられるような指導の工夫を行うことが第一義であると考え、授業改善を進めていくことが筋と考えます。また、生徒にも授業についてこられるように、「予習・授業・復習」のサイクルを意識してふだんの学習に取り組むように呼びかけていきます。

【キャリア教育と進路指導】

○進路指導の在り方

- ・模試の回数が多いため、特に3年生は、全て受けるのではなく、各自の進路に応じた選択制としてほしいです。土日連日の模試は、生徒への負担が大きいと感じます。・もう少し進路に向けて厳しく指導していただけたらたすかります。
- ・模試などは強制ではなく、希望制にすべき。
- ・アカデミアの学習が楽しいと話してくれる娘の様子から楽しい(乗り越える辛さも含め)と思える日々の積み重ねが主体的に進路を考えられる要素だと考えます。子供が主体的に進路について考えを持つようになれる指導をしていただけていると感じます。ありがとうございます。
- ・各自の進路希望に応じて、医療系のみならず、旭川市役所、旭川東警察署、旭川地方裁判所等への見学の機会があるとありがたいと思っています。個人での訪問では職員の方から直接お話を聞いたりすることが難しいため、希望制でもよいので高校から参加できると嬉しいです。地域のことをよりよく知り、視野を広げ、キャリア形成の上でのよい経験になればと思います。
- ・進路指導が医療系に関する事が多く、生徒達に他にも多彩な進路があることを提示して欲しい。
- ・上級生や卒業生の生の声が聞こえる、チューター制度などを取り入れて関わりを作ることで生まれる、発見や新たな視点を大切にしたい。より身近な人材からの体験談や雑談的な関わりを持てたら、視野を広くすることが具体的に感じられるのではないかと思います。
- ・どのような職業があり、働いて生きていくのか、情報も不足しているように感じます。また、一人ひとりにあった進路相談も不足していると感じます。
- ・専門職系に進学する生徒に研究発表をやらせるのは大切ですが高校生は大学生ではないので、協力してくれた施設や機関に対する、書面での協力の依頼やお礼が必要なことをおそらく知りません。そのような点についての指導もしていただけると、今後同じように研究する生徒への指導に生かしてもらえると嬉しいです。
- ・今のままなら希望の進路に進めないことを理解してない様子のため、もう少し詳しい現状と目標を指導していただけたらとたすかります。
- ・模試の実施について、保護者向け文書でその都度受験料や所要時間等の日程を知らせて欲しい。また classi が活用されていないのが残念。現状は進研模試の結果閲覧と連絡メールとしての使用であるが、定期テストや他社の模試の結果が見られたり、教材として使用するものと思っていた。これで年間4000円の負担は大きすぎると思う。学年によって活用に差があるとも聞きましたが…
- ・進学時の奨学金や支援金のわかりやすい説明が欲しい。
- ・外部から講師が毎年同じ方が多いと子供から聞きました。同じ職種でもはたらく環境によって仕事内容は全く違うので、卒業生、保護者の中からも毎回違った方に講師をお願いする方が参考になるのではないかと思います。

○講習体制等

- ・夏期講習、冬期講習を、希望制もしくは分散型やリモート形式にしてもらえると助かります。受講費がありましたが、その内訳を明記していただけるとありがたいです。・値のある講習のようですが、80分だと、集中力がとぎれたり、13時半だとお腹も空くようです。通常の50分4教科10分休みは、難しいのでしょうか。

○キャリア教育全般について

- ・具体的、現実的な数字を明確にし、どうすれば基準値をクリア出来るかをご指導賜りたい。生徒自身に向けて、教科選択の仕組み、学部学科と職業の関係等をより詳しく説明していただければ、と思います。
- ・今、1年生で来年度の文理、理科の教科の選択をしました。先生の話聞き一応親にも相談し決めていました。親としては「もう決めちゃうの?」と思いましたが今から目標と覚悟を持って学習することは意義あると思いました。

○模擬試験の受験回数等について

共通テストで課されるマーク型の問題では、正解を選択肢から選ぶという学習に陥りがちです。しかし、本校の多くの生徒が受験する国公立大学の2次試験や学習を深めるという観点から、自分で解答を作ることが求められます。そのためには、どちらかの形式だけで十分ということにはなりません。

また、模擬試験の回数が多いように感じられるかもしれませんが、1・2年生においては、全国的な視野での学習状況の確認および本校の過去年度の生徒との比較によって学習の深まりを観察しています。さらに3年生では、ベネッセ、駿台、河合塾、代々木ゼミナール等の模試を通して、様々な問題形式に慣れることや入試本番を迎えて、いざ受験校を決定する際の判断材料を一つでも多くするという狙いがあります。

特に3年生の10月期は模擬試験が毎週のように実施され、お子様の疲労が蓄積していくことで保護者の方にはご心配をおかけしていますが、この時期を体調管理も含めて乗り越えることで、受験生としての成長と秋から入試直前期までの心身の粘り強さにつながると考え、ご家庭でサポートいただきたいと考えております。

○進路実現に向けて

本校の進路指導で大切にしていることは生徒の「想い」を深めることとその想いを「実現させる力」を獲得させることの両輪をバランスよく回していくことだと考えています。各種進路行事(進路集会、志望校別集会、文理医集会)や担任との面談等を通じて、必要な情報はお子様に与えられていますから、自ら自分の将来について考え、目標のために何を、どうすべきなのかを探してほしいと願っています。そのためには担任をはじめ、どの教員もしっかり相談にのる準備が整っています。

○幅広いキャリア形成のために

将来の職業選択の幅を広げるために総合的な探究の時間の有効的な活用や本校卒業生を含めた外部人材の活用によって、「学びのフロー」などの名称で、様々な分野の方に来校いただき、大学での学びや社会人としてのこれまでの経験について講演いただいています。また、分野によっては、継続的に講演や指導をいただける方が稀有なものもあります。結果的に同一人物が複数回来校することがあるかもしれません。

コロナのこともあり、十分に実施できない面もありましたが、通常通りの活動ができるよう努力してまいります。

○模擬試験実施の案内について

classi でどのような情報を発信するかは学年に委ねられています。その上で、進研模試に関してはグループ企業ということがありますので、閲覧できる状況にあります。定期テストについては一人ひとりの個票を間違いなく、一人ひとりに送付することが安全面から考えても妥当な方法ではありません。駿台、河合塾に関しましては、それぞれ登録いただいて、インターネット接続でご覧いただくことになります。

○奨学金等について

奨学金に関しては、教室掲示等によって案内がされております。また、年に数回、大学入学後の奨学金等をまとめた冊子を配布しておりますので、そちらを参考にしてください。

○講習等について

長期休業中の講習につきましては、普段の授業では扱えないボリュームのある内容を、それぞれ担当講師が考えて準備をしています。自分で勉強することにも意味はありますが、教科のバランスが悪くなったり、勉強する内容が狭くなったりしますので、基本的に全員に受講してもらっています。また1コマ当たりの時間が長く、予習も含めて大変かとは思いますが、大学入試を考えた時に、ぜひ80分講習に慣れていただければと思います。

【生活指導について】

○自転車マナーについて

- ・学校前の横断歩道において赤信号にかわりそうな時に自転車で渡ろうとする生徒を見かけます。巻き込み確認をしない車のドライバーがいたら危険だと感じます。
- ・自転車の逆走をよく見ます、改善されることを希望します。

○いじめ未然防止について

- ・最近では、いじめが原因で命を絶つ等のニュースが多いです。東高ではいじめ防止やいじめられた生徒を守る対策がどのようにされているのか、生徒に指導し、安心して学校生活を送れるようにお願いしたいです。いじめた生徒への指導や、時には厳しい処分等、必要ではないかとおもいます。

○人間関係・マナー指導について

- ・生徒の服装や髪の色等について、親は勿論ですが、学校でもある程度厳しく指導すべきだ考える。勉強が出来れば良いと言う訳ではない。
- ・個性を重視されとても素晴らしい教育をされていると思いますが生活態度(遅刻や身だしなみ等)もう少し厳しくても良いかなと思います。家庭で注意しても学校では何も言われないうってたので。

○携帯・スマホの利用について

- ・スマホとの付き合い方、新型コロナ感染予防に関し、生徒の判断に委ねすぎるのは危険かと思えます。東高生とはいえ、まだ高校生です。まだまだ大人の助けが必要だと思います。

○学校（生徒会行事）行事について

- ・東高祭の準備 平日の活動では下校時刻も明記されましたが、土日の活動も、夜遅くなる場合には、該当生徒に対し、終了時刻を学校からお知らせをいただきたく思います。
- ・合唱コンクールがなくなってしまったそうで同窓生としては寂しく思います。また学校祭に保護者が行けなかったのが残念です。来年度は、ぜひ参加させていただきたいです。
- ・今年度は、生徒の活動している様子を見に行く機会が少なかったもので、東高祭の野外でのクラス発表など、短時間、分散型でも構わないので、生徒たちが実際に活動している様子を見に行くことができたら嬉しく思います。

○自転車マナーについて

残念ながら車との接触事故は毎年数件発生しています。幸い大事には至っておりませんが、生徒には十分に注意するよう指導しております。次年度の自転車通学においても、ご指摘いただいた点も指導していきたいと思っておりますので、ご家庭でも十分気をつけるようご指導のほどご協力お願い致します。

○いじめ未然防止について

いじめについては本校ホームページに掲載している「学校いじめ防止基本方針」に基づいて防止に努めております。ご心配な点等ございましたら担任または生徒指導部までお気軽にご連絡ください。

○人間関係・マナー指導について

本校には『東高生は良識をもって常に服装や身だしなみに留意する』という約束で、制服着用を自由化した経緯があり、生徒には常に良識について考えて行動してほしいと伝えています。ご指摘いただいた点は生徒会風紀委員会にて検討させていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。

○携帯・スマホの利用について

上記同様、生徒がスマホを適切に使用できるよう適時発信していきたいと考えています。
ご指摘ありがとうございます。

○学校（生徒会行事）行事について

学校祭準備期間中の下校時刻については、土日も含めて事前に文書にてお知らせしております。点検作業等の活動内容によっては下校が遅くなる場合もありますのでご了承下さい。不明な点等ございましたら担任または顧問へご連絡ください。

今年度の学校祭は生徒会を中心にさまざまな点に配慮しながら3日間実施することができました。学校としても生徒の活動を多くの方々に見ていただきたいと考えておりますので、感染状況を踏まえて生徒会と検討させていただきます。

【部活動について】

○部活動の活動状況について

- ・体育館の利用が充分ではありません。もう少し利用頻度を増やしていただきたいです。
- ・行事、部活動の縮小について、子供からは事情を聴いて入るが、東高で過ごす時間を進学のための学力向上のためだけに費やさないで欲しい。
- ・部活動の結果についても、もう少しホームページなどで公表して欲しい。データが古すぎるもの、北人のデータが見えにくいものも多く、進学校とは言え部活動も頑張りたい受験生の情報収集には、非常に物足りない。勉強だけでなく部活や課外活動に力を入れたいと言う受験生が情報収集をしやすい情報公開をして欲しい。
- ・部活動に関してですが、実際に入学するまで活動状況等がよくわからなかった点が残念です。力を入れている活動、そうでない活動があるのは致し方ないと思いますが…入学前にももう少し具体的な情報が入手できると、選択の判断につながって良かったと本人とも話しております。
- ・教員の削減が理由なのは理解できますが、部活動が減らされていくのは避けてほしいと思います。
- ・子供は運動系の部活動でしたが、休みが少なく、勉強時間の確保に苦労していました。両立はとても大事ですが、もう少し勉強と部活のメリハリがあったら良いと感じました。

○部活動の活動状況について

各部活動の練習環境については、生徒指導部で調整して割り振りさせていただいております。

部活動や行事の縮小については、間口の減少や大学入試制度の変化などに対応してのものとなりますので、ご理解ください。

部活動の活動報告については、今後検討させていただきます。

【保健安全指導について】

○生徒の支援について

・夏休み明けに欠席をした生徒に休まないように注意した先生がいました。あの時期は体調が悪かったら無理せず休むよう道教委から通達がきていたはず。サボリだと思われたのでしょうか。もう少し配慮していただきたいです。

○ 生徒の支援について

夏休み明けは、高校生活の第2のスタートです。

それというのも、高校の1年間の中で、夏休み明けから冬休みまでの期間は、生徒たちが最も力を付けていく大切な時期だからです。ですから、学校では少しでも早く生徒が学校生活のリズムを取り戻して、授業中心の学習のペースを軌道に乗せて行けるよう指導します。今回のことも、その一環としての声かけであったと思います。

しかしながら、生徒一人ひとりの健康が第一であることには間違いありません。体調不良の場合には当然休養が大切です。特に、昨今のコロナウィルス感染予防の観点からも欠かせない配慮であると思います。

今回も、お子様の体調についてしっかりと状況を確認し、適切な対応を取る必要があったと思います。そうしたコミュニケーションが不足していたことについて、教職員全体の反省とし、今後の対応を改善していきたいと考えております。

【PTA・広報等について】

○広報等学校の情報発信について

・入学説明会が生徒向けのみでした。希望制でも構わないので、保護者向けにもあると助かります。

・学校からの通知の書式が一定でないため、読みづらい時があります。書式をできるだけ統一していただけるとありがたく思います。

・学校のホームページの更新や Twitter の更新を、学校での様子が見れるので楽しみにしています。昨年度に比べ、今年度、更新が少ないので、コロナ禍の中で、学校の様子をみたいので、こまめに更新をお願いしたいです。

○年間通じて学年通信を発行しており、HP や SNS (Twitter) で情報発信を行っています。また、classi での情報発信の検討をはじめ、今後さらなる情報発信の充実を図ります。

【施設設備について】

○暑さ対策・室温管理

・これだけ、暑い夏になっているので、身体を、守るために、それなりの、対応は、必要だと、思います。

・夏場の熱中症の対策や校内の暑さについて検討していただけたらと思います。

・難しいとは思いますが、エアコンなどの冷房対策をしてあげて欲しいです。暑い日が続くと体調を崩したり、勉強に集中できなくなったり、色々と心配です。

・学校にエアコンが必要ではないでしょうか。今年の夏の様な状況で、健康管理の点も含め、十分な学習環境であるとは言えないと思います。

・自転車置き場の屋根があれば良いかと思っています。

○その他の施設・設備

- ・廊下が寒い。エレベーターの設置（足のけがの人が多いのに、けんけんして上り下りしていて危険、かわいそう）。多目的トイレの設置（ジェンダーレス実現のため）。
- ・生徒用椅子の劣化があると思います。ジャージを引っ掛けてしまいボロボロです。買い替えが難しいのであれば、やすりをかけるなどして、椅子の手入れをお願いしたいです。
- ・売店(弁当販売)を設置してほしいです。
- ・学校のトイレだけでも改善していただけないか。流れない、流れにくいトイレでは使用しづらいと話している。
- ・学習環境のハード面の改善を検討していただきたいです。教室の狭さ、机の狭さ、机と椅子の劣化、夏の暑さとのことです。よろしくお願いします。

○夏場の暑さ対策として、北海道教育委員会に冷房設備の設置要望を継続して行っています。冬場の寒さ対策は、ボイラーの系統によって暖まりにくい教室もありますが、今後もこまめに室温を確認し、適正な室温に留意していきたいと思います。

机・椅子他、施設・設備の劣化について、修繕に努めているところです。

【学年】→ 学年

○担任との相談・情報共有について

- ・生徒が公欠で、ホームルームに出れない日の連絡事項は、それぞれ生徒に必ず、連絡をしてください。特に、何かの出席確認などの期日のあるものは、しっかりと連絡して頂きたいです。
- ・進路について先生に質問をお願いしたところ、担任の先生から、調べておくのではなく、あやふやな返答があること。わからないときは、時間かかってもいいので、返答お願いしたいです。真摯に向かいあって、家庭と子供の相談にのって頂きたいです。
- ・定期考査日や模試日も同様に、通常の下校時刻と変更ある場合には、時間割や下校時刻などを、Classi でも構わないので、学校から連絡いただくとありがたいです。
- ・生徒用の Classi の内容確認できればより良い。
- ・急な欠席、早退時の配布物、連絡が確実に届くようにしてほしい。
- ・配布物のなかに、親の署名捺印が必要な物があります。配布から回収まで、土日进行二回跨ぐような配布の仕方をお願いしたいです。
- ・地方に住んでるので、保護者へのプリントやお知らせ等などは生徒ではなく自宅の方へ送ってくれたら助かるなあと思っている。

○担任との情報共有について

生徒に連絡する必要があることは生徒に連絡しております。保護者の皆様へ連絡する必要があることは配付プリント、保護者向け classi にて連絡しております。

将来、それぞれの分野でリーダーとして活躍する生徒たち。卒業後、社会の荒波を超えていけるよう、生徒たちにはできるだけ自立の精神を身につけ、東高から巣立っていただきたいと思います。どうかご家庭でも、お子様の成長を暖かく見守っていただければと思います。

もちろん、なにかご心配なことなどありましたらご遠慮なく担任団にご連絡ください。

○授業進捗について

予習・授業・復習のサイクルの重要性を理解し、習慣化することで、徐々に力を付けてきた生徒と、まだ主体的に取り組めていない生徒との差が大きくなってきています。次年度は学力下位層生徒に対して学習習慣を身に付けさせるなどの支援を厚くしたいと考えています。

○キャリア教育について

次年度、アカデメイアを行う際に、あわせて指導していきたいです。

○生活指導について

一部生徒で黙食がおそろになっています。昼休みに教室を巡回し注意喚起する必要があると考えています。

スマホをつかいこなせるようにと指導してきましたが一部の生徒はゲーム機として使用しています。この部分は今後厳しく指導していきます。

基本的生活習慣の確立を年度目標の最上位に掲げて学年経営に取り組んできましたが、スマホ利用や身だしなみの部分でだらしない面が見られたため、次年度も継続してマナーや身だしなみ、正しいスマホ利用を指導していかなければならないと考えています。

【管理職】

○教員の指導体制について

- ・教科の先生が娘のクラスだけ違うようで、わかりづらいようです。どのクラスも指導力のある先生に受け持っていていただきたいです。
- ・教員の中には、東高生なら出来て当然との言動を取り、質問に答えられない場合の生徒への配慮が足りないように見受けられる方がおります。子供の向学心を削ぐような言動がないか確認をお願いします。
- ・全く自分の思い込みだけで、生徒指導している先生は、生徒を、傷つけていると思います。
- ・教科の中で、熱心な先生と、そうでない先生が、いるのは、残念です。
- ・教科によっては、先生の能力を疑わざるを得ない事があると思います。
- ・生徒の学習レベルに合った教科担当の 適正配置をした方が良いと思います。
- ・同じ教科であるのに、A 先生は柔軟な対応、一方で B 先生は生徒の希望や気持ちに寄り添うことなく指導をしていることが気になり残念に思います。
- ・子どもに否定的な言葉をかけていると聞いています。

○ 教員の資質向上について

教員の資質向上のため、授業アンケートの結果分析や公開授業、校内研修をこれまで以上に重点的に行うとともに校外研修への積極的参加を促します。

また、生徒理解に努め、個に応じた指導が実践できるよう情報共有を図ります。